

豊かな表現力を育み、自己肯定感を高める

1 学ぶ力向上の方針

○豊かな表現力を育み、自己肯定感を高める

- ・自信を持って思いや考えを言葉で適切に表現できる力を高める。
- ・学びの満足感や充実感を自信につなげ、自己肯定感を高める。

2 学ぶ力向上の具体的な取組 …… カリキュラム・マネジメントと教師の適切な指導・支援

学びを実感できる

授業づくり

- ・めあてや課題を明確にし、めあてに応じたふり返りをさせる。
- ・魅力ある学習活動を仕組み、児童の主体的な学びを生む。
- ・自分の表現を目的や相手などに応じて捉え直し、自分の考えを的確に表現できるようにする（話す・書く）。
- ・ペア・グループで話し合い、互いに学び合う場面をつくる。
- ・単元の構想を立て、児童の目的意識を高める課題設定を工夫する。

学ぶ意欲を引き出す

学習集団づくり

- ・学習規律の定着を図る。
- ・「話す・聞く」ときは、「目を見て、最後まで、聞こえる声で、うなずきながら」を定着させる。
- ・積極的に参加・発言したり、失敗を恐れず挑戦したりできるように、一人ひとりの学習活動を温かく受けとめ、支持的な学習集団をつくる。
- ・全教職員が子ども理解に努め、「認める・ほめる・励ます」ことを意識化・行動化する。

子どものために一丸となって

取り組む学校づくり

- ・合言葉「チャレンジ！やればできる」「思いやりとありがとうの心で」「チャレンジ！やればできる」を大切にしたい指導をおこなう。
- ・教職員の指導力向上に努める。
 - 校内研究の取り組みから
 - 校内OJT（On the Job Training→実際の職務現場において業務を通して、上司や先輩から指導をおこなうこと）の組織化から
- ・図書の実践や図書室の整備、読み聞かせ等を通して、読書が好きな子どもを育成する。
- ・総合的な学習の時間を主体的・協働的で魅力的なものに見直しを図る。